

(1) 直流電圧の測り方

- ① 先ず、パネル中央にあるレンジ切り換えのつまみを、直流電圧 DC・V にあわせませす。

これで、テスターは直流電圧計として動作することになります。

なお、この場合、測ろうとする電圧より高いレンジにすることが大切です。

もし測定電圧のおよその大きさも見当つかないときは、前記の電流、電圧計の場合と同じで、まず大きい数字のレンジでおよその電圧を測ってみて、それに応じて適当なレンジに切り換えるようにします。

- ② つぎに赤ピンプラグを測定端子 ⊕ のジャックにまた黒ピンプラグを ⊖ 端子のジャックに差し入れます。

- ③ 測定は、赤テストピンを負荷の ⊕ 側に、黒テストピンは負荷の ⊖ 側にしっかりとあてます。

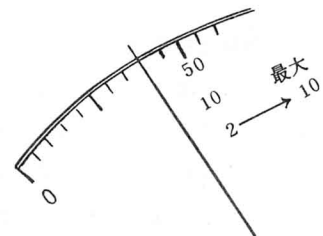
- ④ このときの指針の示す目盛りを読み取ればよいわけです。

ただ、目盛りは多重に目盛っておりますので、慣れないと読みにくいものです。つぎの具体例で説明しましょう。

上の写真-5 は、乾電池の端子電圧を測っているところです。乾電池の起電力は 1.5 V 程度だから、切り換えつまみは〔DC・V〕10 にしました。

従って、目盛りは最大 10 V の目盛り数列を見ればよいことになります。

この様子は、写真ではわかりにくいので図-9 に書き写してみました。明らかに 1.6 V と読み取ることができましょう。



針は 1.6 V を指している。

図-9

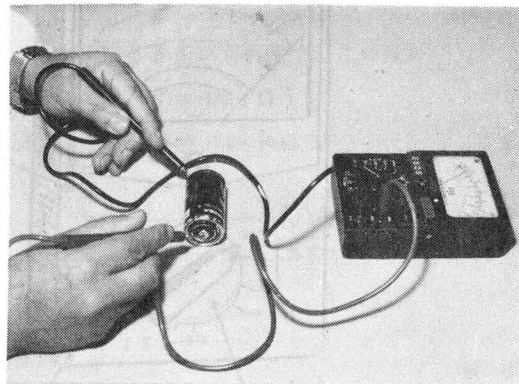


写真-5